

平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	飯能市吾野地区 自然・歴史・生活文化を活かした交流・にぎわい創生プロジェクト	
対象地域	埼玉県飯能市 吾野地区・東吾野地区	
対象地域の概要	 図 対象地域の位置(埼玉県内)  図 対象地域の位置(飯能市吾野・東吾野地区)  図 景観的な課題により、歴史的な価値が活かし切れていない街なみ(吾野宿)。日中の人通りもほとんど無い。(吾野宿)  図 増加しつつある耕作放棄地(国道299号沿い)  図 地区の総面積の80%以上を占める山林。スギが密集する。(東吾野)	
提案内容の概要	20年度の取り組みで、地区の資源や団体の活動、課題点等を把握し、地区内外の専門家や多様な主体との連携体制を構築した。この成果をもとに、21年度は、課題解決に向け事業を立ち上げ試行する。具体的には、活用・連携が出来ていなかった既存の資源や行事の活用、各団体・都市住民との交流と連携を具現化(試行)する。	
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	1. 人口、インフラ整備、生活環境、産業等に係る課題 ①人口減少(吾野地区H8年3,395人→H20年2,696人、東吾野地区H8年2,771人→平成20年2,363人) ②働ける場所がなくて若者が住みにくい(地区懇談会実施報告書 発言要旨より) ③郵便局、交番、農協等の統廃合による利便性の減退(地区懇談会実施報告書 発言要旨より) ④交通条件の変化(トンネルの新設)による旧道部分の増加、通過交通の増加と地区来訪者の減少 ⑤林業従事者の減少、山林所有者の負担の増大、山林の手入れ不足等の林業に関する問題 2. 平成20年度プロジェクトから抽出された主な課題 ①地区内の連携・協力(役割分担)体制が不明瞭(「吾野を語る会」より) ②地区内の既存資源が活かされていない(資源調査、吾野宿まつりの検討、「吾野を語る会」より) ③経済効果を伴った活動の必要性(「吾野を語る会」より) ④都市部からの人の誘致(定住者および交流者の両方)(「吾野を語る会」より) ⑤未利用既存施設(古民家、農地等)の分布と未利用(「吾野を語る会」より) ⑥吾野宿の古民家の保全・活用とまちなみの景観について(吾野宿再生方針の検討・基礎調査より)	
(2) 活動内容の案	活動①：既存行事の持続的展開・交流促進プロジェクト 20年度の調査結果・課題や提案を踏まえ、8月に実施される「吾野宿まつり」や11月に実施される「東郷公園もみじまつり」において、来場者が既存行事の会場だけではなく、広く地区内を巡り、魅力に気づく機会を創出するとともに、食事や買い物等の経済活動が広く地区内で行われるように誘導する事業の試行と新たな参加者層獲得を目指す。具体的には既存行事への参加者層の拡大を目指して、地区外の専門家と連携し、地区の「西川材(間伐材)」を有効活用した展示会の実施、既存行事と展示会の両者を案内して地区の魅力を紹介するツアー、その効果や今後の持続性に関する検証を行う。	

	活動②：各団体・高校等と連携した空き施設・遊休農地活用プロジェクト 平成 20 年度の資源調査の結果、吾野宿周辺の国道 299 号沿いの農地や家庭菜園において、耕作放棄や荒地化が進んでいることが確認された。こうした土地利用の増加は、地区の景観的な魅力を減退させ、国道を通る都市住民や散策するハイキング客等の地区に対する印象も悪化する。そこで、農業について専門的な知識を持つ高校や団体等と連携し、遊休農地等を活用し地区の魅力を高める方法を検討・試行し、空き施設において販売や展示が可能な作物や商品について可能な範囲で展示や販売を試行する。空き施設や遊休農地をうまく組合せ、新たな付加価値の創生と仕組みづくりを目指す。 活動③：地区内活動団体の連携による地区内産物の効果的な販売実験「吾野市」プロジェクト 20 年度の取り組みにより、地区内では、農産物等の生産を行い、活性化に向け一定の成果をあげている団体や、展示や物品の販売拠点としての有効活用が有望な空き施設が存在が明らかになった。その一方で、各団体や地区内の各地点における連携がうまく取れておらず、効率の悪さ等が課題として指摘された。そこで、平成 21 年度には、地区内の複数の団体の連携により、農林産物の生産・供給、展示・販売を役割分担し効果的に行う「吾野市(あがのいち)」プロジェクトを実施する。産物の生産に適した地点の団体より品物を供給し、販売に適した地点の空き施設等を有効活用して効果的に販売を行っていく仕組みの構築に向けた試行と検証を行う。 活動④：吾野宿まちなみ再生・整備計画の策定、修景作業の試行 平成 20 年度に実施した基礎調査と検討を行った方針をもとに、古民家が建ち並ぶ地区内の拠点の一つである吾野宿の課題の解決と方針の実現に向けたより詳細な計画(散策路等)の策定とそのために必要な調査を実施する。あわせて、同計画に基づき、地域の林業者より提供を受けた間伐材を用いて実施可能な範囲で行う軽微な修景作業を地域団体・住民と実施し、効果のアピールに努める。 活動⑤：「吾野を語る会」および「吾野地区再生会議(作業部会)」の開催 地区内外の各団体、企業、専門家による意見交換・協議の場として実施した「吾野を語る会」を平成 21 年度にも開催する。普段、集まる機会のない地域内の各団体や企業間のコミュニケーション、地区外の団体との交流を推進し、効果的な活動や連携体制を構築することを目的とする。また、地区内外の様々な専門家(建築家、林業家、木工関係者、マスコミ、音楽家、芸術家など)との連携や協働事業の具体的な企画や実施に向けた体制づくりを行う「吾野地区再生会議(作業部会)」を開催する。
応募団体名	吾野宿の再生を考える会(吾野宿再生と吾野を語る会)
リンク	
部局／担当者名	大河原義重
連絡先	0429-78-1946
推薦市町村名	飯能市